

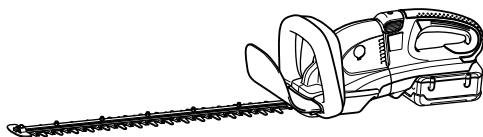
Makita

ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

550mm 充電式ヘッジトリマ

モデル MUH550D



このたびは **550mm 充電式ヘッジトリマ** をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願い致します。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



目次

・ 主要機能	-3
・ 安全上のご注意	-5
・ 充電式ヘッジトリマ安全上のご注意	-9
・ 各部の名称および標準付属品	-11
・ 別販売品のご紹介	-12
・ 使い方	-13
・ バッテリーの取り付け・取りはずし方	-13
・ バッテリー保護機能	-13
・ バッテリーについて	-13
・ バッテリーの容量表示方法（バッテリー BL3622A のみ）	-14
充電器 DC36RA の場合	
・ バッテリーの充電方法	-15
・ 充電表示ライトについて	-16
・ 冷却システムについて	-17
充電器 DC36WA の場合	
・ バッテリーの充電方法	-18
・ 充電表示ライトについて	-19
・ オートメンテナンス機能について（充電器 DC36RA のみ）	-21
・ バッテリーを長持ちさせるには	-21
・ バッテリーの回収について	-21
・ 充電器の点検・修理・保管について	-21
・ スイッチの操作	-22
・ ストローク数調整ダイヤルの操作	-22
・ ハンドルの角度設定	-23
・ ヘッジトリマの持ち運び方	-23
・ 刈り込み方法	-24
・ 別販売品の使い方	-26
・ チップレシーバの取り付け・取りはずし方	-26
・ バッテリアダプタの取り付け・取りはずし方	-28
・ 腕用コードフックについて	-29
・ 保守・点検について	-30
・ シャープブレードアッセンブリの交換方法	-30
・ 取りはずし方	-31
・ 取り付け方	-33
・ カーボンブラシの交換	-35
・ ブレードのお手入れ	-35
・ 本機のお手入れ	-36
・ 保管	-36
・ ご修理の際は	-36

主要機能

モデル	MUH550D	
主要機能		
電動機	直流マグネットモータ	
バッテリー	リチウムイオンバッテリー	
	バッテリー BL3626 (容量 2.6Ah)	バッテリー BL3622A (容量 2.2Ah)
電圧	直流 36V	
ストローク数	1000 ~ 1800 min ⁻¹ (回 / 分)	
刈り込み幅	550mm	
本機寸法	長さ 1070mm × 幅 220mm × 高さ 190mm	長さ 1074mm × 幅 220mm × 高さ 190mm
質量	5.1kg (バッテリー 1.3kg 含む)	
充電器	DC36RA	DC36WA
入力電圧	単相交流 100V	
入力周波数	50-60Hz	
入力容量	430VA	230VA
出力電圧	直流 36V	
出力電流	直流 9A	直流 2.3A

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 製品および付属品の取り扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

JPA002-28

- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、正しく使用してください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ・ 他の人に貸し出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警告

安全作業のために：

ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。

1. マキタ専用の指定のバッテリー以外を使わないでください。
 - ・ 改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）も使用しないでください。工具本体の性能や安全性等も損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発熱、発火、破裂などの原因になります。
2. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください。
5. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・ 発熱・発火・破裂の恐れがあります。
6. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ バッテリーの液漏れ、発熱、破裂の恐れがあります。
7. 正しく充電してください。
 - ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり直流電源やエンジン発電機では使用しないでください。（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）異常に発熱し、火災の恐れがあります。
 - ・ 周囲温度が10℃未満、または周囲温度が40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
 - ・ 使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。破裂や火災の恐れがあります。
8. ぬれた手で電源プラグに触れないでください。
 - ・ 感電の恐れがあります。

⚠ 警告

9. 作業場の周囲状況も考慮してください。

- ・ 充電工具、充電器、バッテリーは、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。感電や発煙の恐れがあります。
- ・ 作業場は十分に明るくしてください。暗い場所での作業は事故の恐れがあります。
- ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用、充電しないでください。爆発や火災の恐れがあります。

10. 保護めがねを使用してください。

- ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。

11. 防音用保護具を着用してください。

- ・ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音用保護具を着用してください。

12. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力を使用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。（材料を動かして加工する製品を除く。）

13. 次の場合は、充電工具のスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。

- ・ 使用しない、または修理する場合。
- ・ 刃物（刈刃）、ビットなどの付属品を交換する場合。
- ・ その他危険が予想される場合。

14. 不意な始動は避けてください。

- ・ スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- ・ バッテリーをさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

15. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書、および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。

16. バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い、医師の治療を受けてください。

17. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。

18. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。

⚠ 注意

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちがった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 子供を近付けないでください。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - ・ 作業者以外、作業場へ近付けないでください。
3. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。事故の恐れがあります。
 - ・ バッテリーを、周囲温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内等）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
4. 無理して使用しないでください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ・ モータがロックするような無理な使い方はしないでください。
5. 作業に合った充電工具を使用してください。
 - ・ 小型の充電工具やアタッチメントは、大型の充電工具で行う作業には使用しないでください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 充電工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物（刈刃）類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・ 付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器のコードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
8. 充電器のコードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ コードを持って充電器を運んだり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。
 - ・ コードを熱、油、薬品、角のある所に近づけないでください。
 - ・ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。
 - ・ 電源プラグやコードが損傷した充電器や、落としたり、何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。感電や短絡（ショート）して発火する恐れがあります。

⚠ 注意

9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
 10. 調節キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ スイッチを入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしであることを確認してください。
 11. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・ 屋外で充電する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
 12. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れている場合は、使用しないでください。
 13. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・ 可動部分の位置調整、および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響をおよぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ スイッチで始動、および停止操作の出来ない充電工具は、使用しないでください。
 14. 充電工具の修理は、専門店にお申し付けください。
 - ・ 本体、充電器、バッテリーを分解、修理、改造は行なわないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
 - ・ 本体が熱くなったり、異常に気付いた時は点検・修理に出してください。
 - ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
 - ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
 15. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- この取扱説明書は、大切に保管してください。

充電式ヘッジトリマ安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式ヘッジトリマとして、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB197-3

⚠ 警告

1. 使用中は、本機を両手で確実に保持してください。
 - ・ 確実に保持していないと、けがの原因になります。
2. 充電式ヘッジトリマを雨中や湿気の多いところで使用したり、放置しないでください。
 - ・ 感電や本機およびバッテリーが故障するおそれがあります。
3. 使用前にシャープブレードにひび割れ、歪み、異常摩耗など傷がないことを確かめてください。
 - ・ これらの傷を発見した場合には絶対に使用しないでください。刃物が破損し、けがの恐れがあります。
4. 使用する前にかかわらず周囲に人がいないことを確認してください。
 - ・ 事故のおそれがあります。
5. 使用中は、シャープブレードに手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
6. 太い枝や針金などがはさまって刃が動かなくなったり、からみついたりしたときには、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてから取り除いてください。
 - ・ バッテリーを本機に差し込んだまま行くと事故の原因になります。
7. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
8. 誤って落としたり、ぶつけたときは、シャープブレードや本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
9. 充電器または充電台のバッテリー挿入部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を入れないでください。
10. 充電器は充電以外の用途に使用しないでください。

⚠ 注意

1. 使用しないときや、持ち運ぶときは、シャープブレードにカバーをし、刃物がむき出しにならないようにしてください。また、お子様の手の届かないところに保管してください。
 - ・ けがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
3. 油及び殺虫剤などの薬品が本機に付いたままにしないでください。
 - ・ 変色・変形・割れ等、本機が損傷するおそれがあります。
4. 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。
5. 取り付けネジの点検
 本機を正しく、安全にお使いいただくためにも、使用前に点検して、ゆるんでいたら締め直してください。
6. 充電中、異常発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

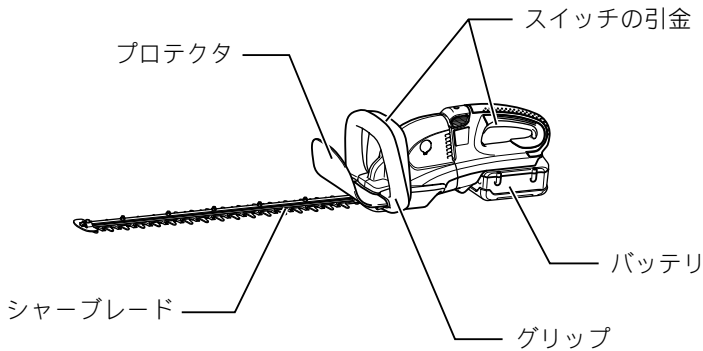
注

- ・ 芝生や雑草などを刈り込まないでください。刈刃に芝生や雑草がかみ込むことがあります。
- ・ 電源が離れていて、延長コードが必要なときは、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

コードの太さ（導体公称断面積）	コードの最大長さ
1.25mm ²	20m
2.0mm ²	30m

各部の名称および標準付属品



製品の組み合わせおよび標準付属品

モデル 標準付属品	MUH550DZ	MUH550DRD	MUH550DWB	MUH550DWBX
バッテリー	×	○ バッテリー BL3626 (2.6Ah)	○ バッテリー BL3622A (2.2Ah)	○ (2 個) バッテリー BL3622A (2.2Ah)
充電器 (充電時間)	×	○ DC36RA (約 22 分)	○ DC36WA (約 60 分)	○ DC36WA (約 60 分)
ブレードカバー	○	○	○	○
バッテリーカバー	×	○	○	○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げ販売店もしくは、当社営業所へお問い合わせください。
- ・ シャープブレードアッセンブリ
部品番号：125443-6
- ・ バッテリ BL3622A
部品番号：A-52261
- ・ チップレシーバ
部品番号：A-49862
- ・ 充電器 DC36WA
バッテリ BL3622A 専用充電器です。
- ・ 腕用コードフック
部品番号：A-42254
- ・ バッテリアダプタ BAP36N
部品番号：A-51225
- ・ バッテリ BL3626
部品番号：A-49965
- ・ 充電器 DC36RA
バッテリ BL3626 専用充電器です。

充電器とバッテリの使用可能な組み合わせ

充電器 \ バッテリ	BL3626	BL3622A
DC36RA	○	×
DC36WA	×	○

使い方

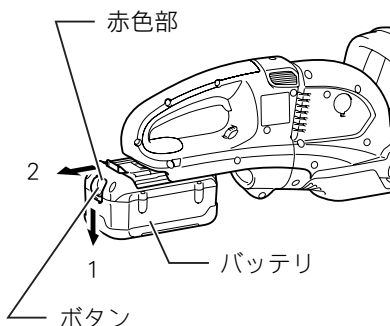
バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 注意

本機、バッテリーを確実に保持して、バッテリー交換をしてください。

- ・ 確実に保持しないと落として本機およびバッテリーが破損したり、けがをするおそれがあります。

- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



バッテリー保護機能

本機にはバッテリー寿命を長くする目的で出力を自動停止する保護機能が付いています。

本機を使用中、下記の状態になりますとモータが自動停止しますがこれはバッテリーの保護機能によるものであり故障ではありません。

- ・ 本機が過負荷状態になるとモータが自動停止する場合があります。このときはいったんスイッチを離し、過負荷の原因を取り除いてください。再度スイッチを操作すれば再びご使用になれます。
また、スイッチを操作してもモータが回転しない場合は、バッテリーの保護機能が働いていますので、充電器で充電してからご使用ください。
バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。スイッチを操作してもモータは停止したままです。このときはバッテリーを充電器で充電してください。

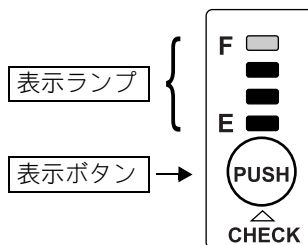
バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。(スイッチを操作すると本機は動くことがありますので注意してください。) ご使用前に充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

バッテリーの容量表示方法（バッテリー BL3622A のみ）

- ・ バッテリーの表示ボタンを押すと、表示ランプが約3秒間点灯してバッテリーの残容量を表示します。



例) 45%～70%表示時

注

- ・ 最下位の表示ランプ（E表示の横）のみ点滅する場合、もしくは全ての表示ランプが点灯しない場合はバッテリーの残容量が少なくなっているため、工具が作動しません。
この場合はバッテリーを充電するか、充電済のバッテリーに交換してください。
- ・ 充電完了しても表示ランプが2個以上点灯しない場合、バッテリーの寿命です。
- ・ 表示ランプの上位2つと下位2つが交互点灯する場合はバッテリーが故障している恐れがあります。お買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 工具使用中、使用直後はやや少なめに表示されます。

表示の見かた

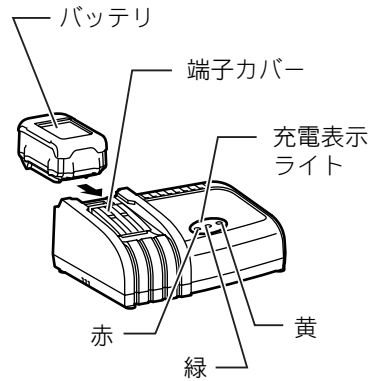
表示ランプ ■：点灯 □：消灯 ▒：点滅	容量
E ■ ■ ■ ■ F	70%～100%
■ ■ ■ □	45%～70%
■ ■ ▒ ▒	20%～45%
■ ▒ ▒ ▒	0%～20%
▒ ▒ ▒ ▒	充電してください。
■ ■ ▒ ▒ ↑ ↓ ▒ ▒ ■ ■	故障の可能性があります。

※ 容量表示はバッテリーの使用条件、温度環境により正確に表示されない場合があります。

使い方

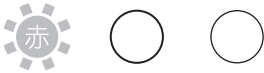
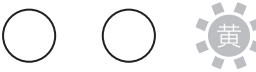
充電器 DC36RA の場合 バッテリーの充電方法

1. 充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。充電器の端子カバーはバッテリー挿入に伴い開閉します。
3. バッテリーを挿入しますと充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。
充電が完了すると「緑」の点灯に変わり、電子ブザーが鳴ります。
充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。
4. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



使い方

充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。 充電できないバッテリーを差し込んだ場合 「緑 1 個」点滅となります。
	冷却中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。適度な温度になると自動的に充電開始します。
 	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0～80%を示します。 充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80～100%を示します。
	充電完了「緑 1 個」点灯 電子ブザー
	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 電子ブザー バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。 互換アダプタ、リフレッシュアダプタ、 オートリフレッシュアダプタは使用できません。
	オートメンテナンス「黄」点灯 バッテリー寿命低下防止のため充電時間が長くなります。
	冷却システム異常「黄」点滅 冷却ファン故障または冷却不足です。

注

- ・ DC36RA はマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを冷却してから充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返し、電子ブザーが「ピピピピッ」と約 20 秒間鳴った場合は、バッテリーの寿命またはゴミ詰まりで充電できません。
- ・ バッテリーを連続で充電される場合は、充電時間が長くなることがあります。
- ・ オートメンテナンス機能により、充電時間が周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態に応じて変動します。
- ・ 充電完了後すぐに使用しない場合は、バッテリーの冷却を行いますので、そのまま差し込んでおくことをおすすめします。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
 - × 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - × バッテリーを挿入しても、表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - × 充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、1 時間以上たっても充電が完了しない。（表示ライトが「緑」に変わらない）。

冷却システムについて

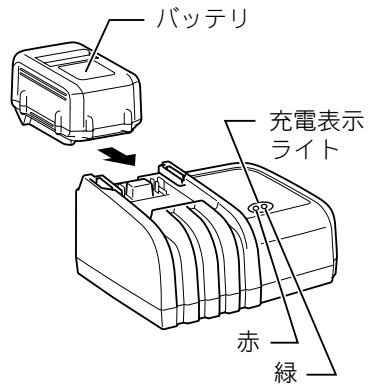
- ・ バッテリーの性能を十分に発揮させるため、充電器内蔵の冷却ファンによりバッテリーを効率良く冷却するシステムです。送風の音がしますが故障ではありません。
- ・ 冷却ファンが故障したり、ゴミづまりによってファンが停止した場合、「黄」のライトが点滅し冷却システム異常をお知らせします。冷却システム異常の場合も充電を行います。充電時間が長くなることがあります。
- ・ 充電中、送風の音がしない場合がありますが、「黄」のライトが点滅していなければ故障ではありません。冷却ファンを停止して充電することがあります。
- ・ 充電器、バッテリーの風穴をふさがないでください。
- ・ 頻繁に「黄」のライトが点滅するようなときは、お買い上げの販売店または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。

使い方

充電器 DC36WA の場合 バッテリーの充電方法

1. 充電器の電源プラグを 100V の電源コンセントに差し込んでください。充電表示ライトは「緑」の点滅を繰り返します。
2. バッテリーを充電器の挿入ガイドにそって、一番奥まで入れてください。
3. バッテリーを挿入しますと、充電表示ライトが「赤」に点灯し、充電を開始します。充電が完了すると「緑」の点灯に変わります。
充電時間は周囲温度（10℃～40℃）やバッテリーの状態（新品・長期保存バッテリーや寿命に近いバッテリーなど）により変動します。

4. バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。



使い方

充電表示ライトについて

ライト表示	表示内容
 	充電前「緑 1 個」点滅 電源に差し込んだ状態です。
 	待機中「赤 1 個」点滅 バッテリーが高温です。適度な温度になると自動的に充電開始します。
   	充電中「赤 1 個」点灯 バッテリー容量約0～80%を示します。 充電中「赤 1 個・緑 1 個」点灯 バッテリー容量約80～100%を示します。
 	充電完了「緑 1 個」点灯
 	充電不可「赤・緑 1 個」交互点滅 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電できません。

使い方

注

- ・ DC36WA はマキタバッテリー専用の充電器です。他の目的に使用しないでください。
- ・ 使用直後のバッテリーや直射日光の当たる所に長時間放置したバッテリーを充電されますと充電表示ライトが「赤」の点滅を繰り返す場合があります。このようなときは、バッテリーの温度が下がると充電を開始します。
- ・ 充電開始後、充電表示ライトが「赤・緑」の交互点滅を繰り返した場合は、バッテリーの寿命またはゴミづまりで充電できません。
- ・ 次のような状態のときは、充電器またはバッテリーに故障があると考えられますので、充電器とバッテリーの両方を、お買い上げの販売店または当社営業所へお持ちください。
 - ×充電器のプラグを 100V の電源に差し込んでも、表示ライトが「緑」に点滅しない。
 - ×バッテリーを挿入しても表示ライトが「赤」に点灯または点滅しない。
 - ×充電開始後、表示ライトが「赤」に点灯した後、3 時間以上たっても充電が完了しない。
(表示ライトが「緑」に変わらない。)
- ・ バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。

使い方

オートメンテナンス機能について（充電器 DC36RA のみ）

- ・ オートメンテナンス機能は、バッテリーの使用状態に応じて自動的にバッテリーを長持ちさせるように最適な充電を行うことを特徴としています。
- ・ 下記 1～4 の状態となった場合、特にバッテリー寿命が低下しやすい状況にあるため、充電中に「黄」のライトが点灯して充電時間が長くなることがあります。
 - 1 高温充電の繰り返し
 - 2 低温充電の繰り返し
 - 3 満充電バッテリーの再充電の繰り返し
 - 4 過放電の繰り返し

（過放電とは工具の力が弱くなってもさらに使用する状態です）

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電して保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店または当社営業所へご持参ください。



Li-ion

リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

充電器の点検・修理・保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
- ・ 修理・点検はお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 充電器の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

使い方

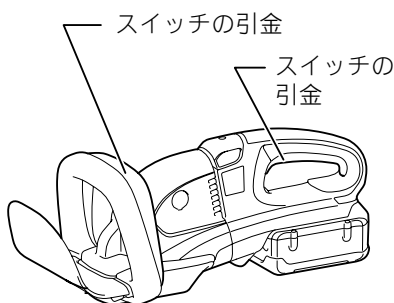
スイッチの操作

⚠ 警告

本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

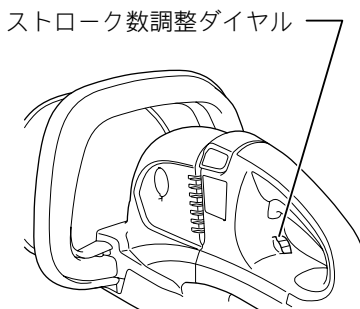
・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に回りだし、事故の原因になります。

- ・ スイッチは2箇所の引金を引いた状態にすると入ります。引いた状態の2箇所の引金のうちどちらか一方を離すと切れます。



ストローク数調整ダイヤルの操作

- ・ 作業内容によりストローク数を無段階に調整することができます。
- ・ 数字が大きくなるほどストローク数が大きくなります。



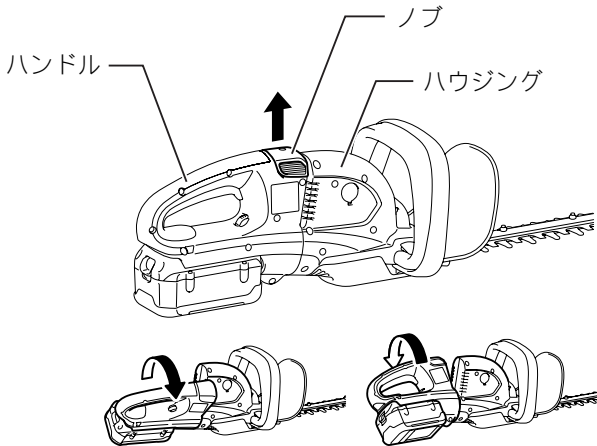
ストローク数調整ダイヤル	ストローク数 min^{-1} (回 / 分) ※
6	1800
5	1750
4	1650
3	1500
2	1300
1	1000

※数値は参考値です。シャープブレードの状態等により異なります。

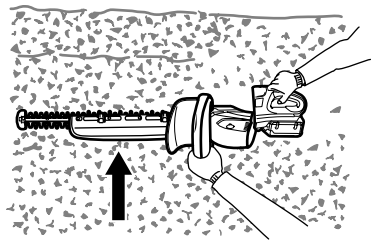
使い方

ハンドルの角度設定

- ・ ノブを引いてハンドルを回転させます。
- ・ 本機はハンドルの角度をハウジングに対して 0° 、左右 45° 、左右 90° の 5 段階に設定できます。



- ・ 生垣の側面を刈り込むときなどに設定すると便利です。



ヘッジトリマの持ち運び方

- ・ ヘッジトリマを持ち運ぶときは必ずバッテリーをはずし、ブレードカバーをかぶせてください。はずしたバッテリーにはバッテリーカバーをかぶせてください。

使い方

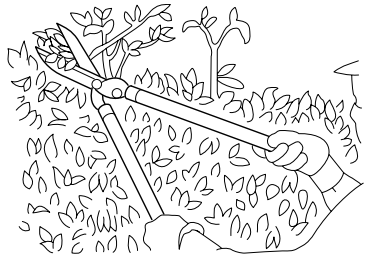
刈り込み方法

⚠ 警告

金属製のフェンスなど硬いものをかみ込むと、刃が損傷したり本機が故障しますから十分注意してください。また、シャープレードを地面に接触させないでください。

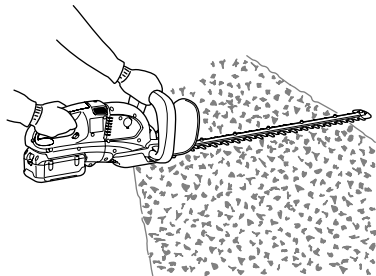
- ・ 本機に反発力が生じ、けがの原因になります。

- ・ 快適な作業するには10mm以上の太い枝は、あらかじめハサミで刈り込み高さまで切っておいてください。

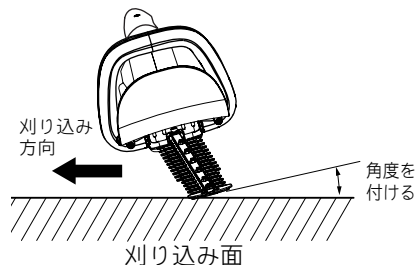


注

- ・ 枯れた樹木など硬いものを切ると本機が損傷する原因になります。
- ・ 本機は、両手でしっかり保持し体の前方で使用してください。

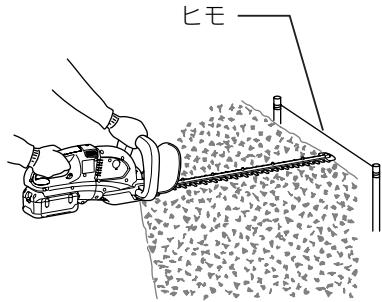


- ・ 刃は刈り込む方向に傾け、落ち着いてゆっくりと1mを3～4秒くらいかけ刈るのが基本です。

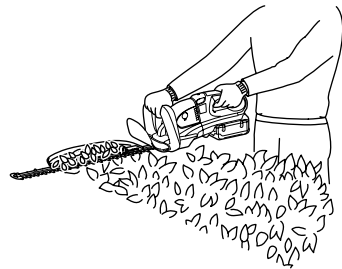


使い方

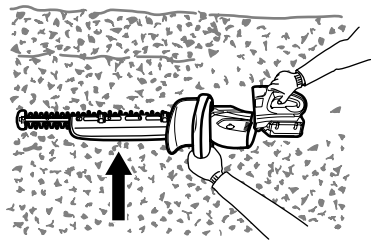
- ・ 生垣の上端をそろえるには、ヒモを張ってそれを目安に刈るときれいに仕上がります。



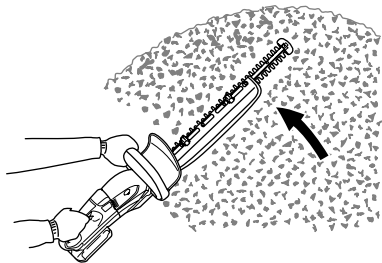
- ・ チップレシーバ（別販売品）を取り付けて生垣の上面をそろえる作業することにより、刈り取った枝葉をすくい受けることができ、作業後の清掃が楽になります。



- ・ 生垣の側面をそろえる場合は、下から上に向かって刈り込むときれいに仕上がります。



- ・ ツゲやツツジの玉造りをする場合は、根元の方から玉の頂上に向かって刈り込むときれいに仕上がります。



別販売品の使い方

チップレシーバの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

チップレシーバの取り付け・取りはずしの際は必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。

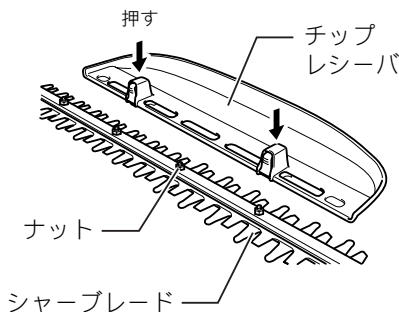
- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと、事故の原因になります。

⚠ 注意

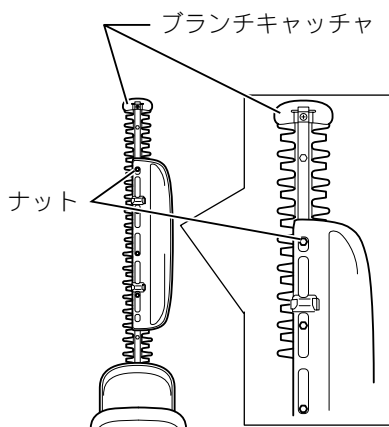
チップレシーバの取り付け・取りはずしの際は必ず手袋を付け、手や顔などが直接刃物に触れないようにしてください。

- ・ けがの原因になります。

- ・ チップレシーバは刈り取った枝葉をすくい受け、作業後の清掃が楽になります。本機の左右どちらでも取り付けることができます。

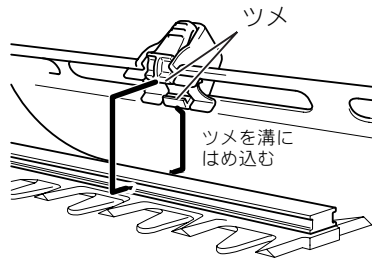


- ・ チップレシーバはシャープブレードのナットとチップレシーバの長穴を合わせて上から押し込んで取り付けます。その際、シャープブレード先端のブランチキャッチャに当たっていないことを確認してください。

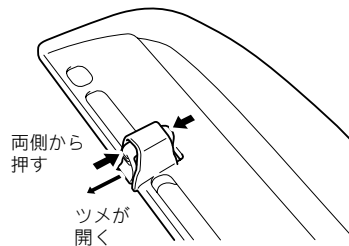


別販売品の使い方

- このとき、シャープブレードの溝に、チップレシーバのツメ部が合うように、取り付けてください。



- 取りはずす場合はチップレシーバのレバー部を押し、ツメ部をひろげて取りはずします。



⚠ 注意

標準付属品のブレードカバーはチップレシーバを取り付けた状態では取り付けられません。本機の運搬・保管時には、チップレシーバを取りはずして、ブレードカバーを取り付け、刃物がむき出しにならないようにしてください。

注

- ご使用前にチップレシーバが確実に取り付けられているか確認してください。
- ツメ部がシャープブレードの溝部にはまったまま無理にはずさないでください。故障の原因になります。

別販売品の使い方

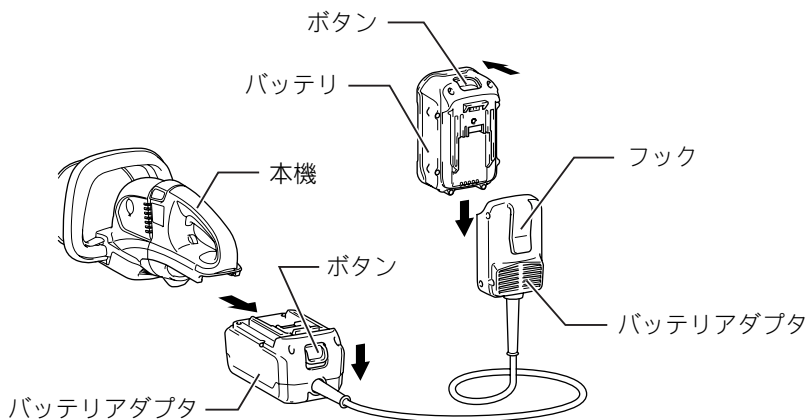
バッテリーアダプタの取り付け・取りはずし方

⚠ 注意

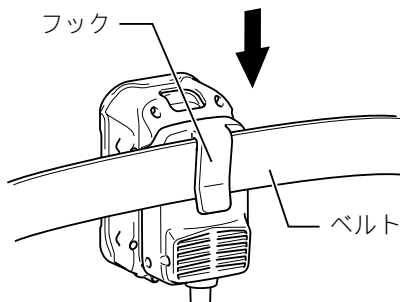
バッテリーアダプタの取り付け・取りはずしの際は必ず本機のスイッチを切ってください。

バッテリーアダプタを使用するときは、腕用コードフックも同時に使用してください。

- ・ バッテリーアダプタを使用すると本機を軽量化し、作業者の負担を軽減できます。
- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、バッテリー正面のボタンを下げながらスライドさせると取りはずせます。
- ・ はずしたバッテリーをバッテリーアダプタのフックが付いている方に取り付けます。バッテリーアダプタの溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。
- ・ 同様にバッテリーアダプタ (フックの付いていない方) を本機に取り付けます。



- ・ バッテリーアダプタのフックをベルトに引っかけて使用します。



別販売品の使い方

腕用コードフックについて

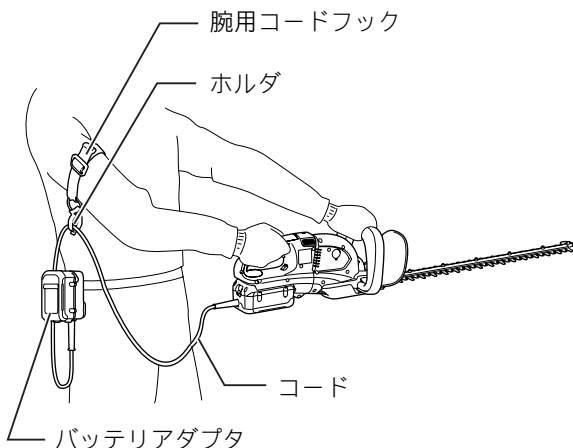
⚠ 注意

腕用コードフックのホルダ部にはコード以外を取り付けないでください。

- ・ 事故やけがの原因となります。

バッテリーアダプタを使用するときは、腕用コードフックも同時に使用してください。

- ・ バッテリーアダプタを使用するときに腕用コードフックを併用します。
- ・ 腕用コードフックを使用すると、コードのたるみを少なくでき、本機のシャープブレードによるコード切断防止に効果があります。
- ・ 腕用コードフックは、バンド部を図のように腕に巻き付けて、ホルダ部にコードを通してお使いください。お好みに合わせてバンドの長さは調整できます。



注

- ・ バンド部にはコードを通さないでください。
- ・ ホルダ開口部には無理な力を加えないでください。ホルダ部の変形、破損の原因となります。

警告

点検・整備の際には必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。
・ バッテリーを取り付けたまま行くと、感電や事故の原因になります。

シャープブレードアセンブリの交換方法

注

- ・ ギヤやクランクについているグリスは拭きとらないでください。
故障の原因になります。

警告

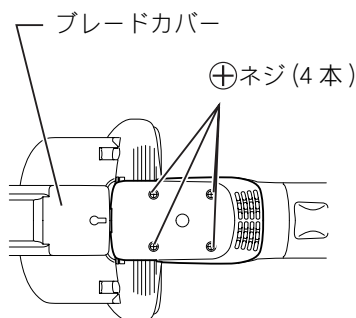
シャープブレードの交換の際は必ずスイッチを切り、本機よりバッテリーを抜いてください。
・ バッテリーを取り付けたまま行くと、感電や事故の原因になります。

注意

シャープブレード取り替えの際には必ず手袋およびブレードカバーを付け、手や顔などが直接刃物に触れないようにしてください。
・ けがの原因になります。

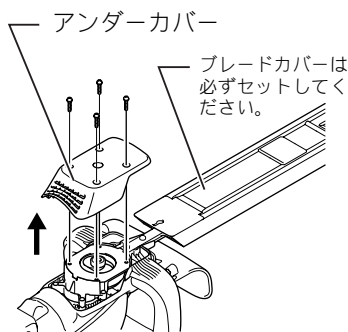
取りはずし方

- ・ 本機を裏返して、⊕ネジ (4 本) をはずします。(お手持ちの⊕ドライバをご使用ください。)

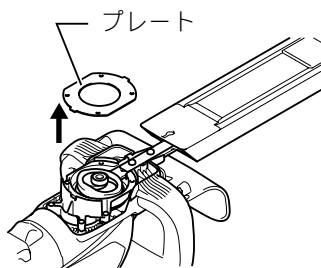


注

- ・ シャーブレードの駆動部にはグリスが塗布されており、手が汚れますので注意してください。
- ・ アンダーカバーをはずします。

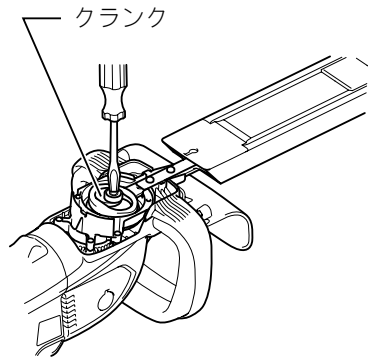


- ・ プレートをはずします。

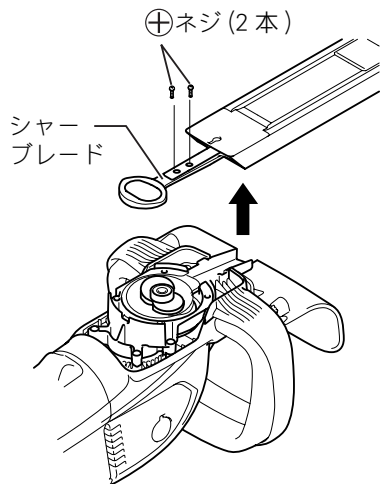


保守・点検について

- ・ ⊖ドライバでクランクの角度を図のようにします。



- ・ シャーブレードの⊕ネジ (2 本) をはずせば、シャーブレードをはずすことができます。

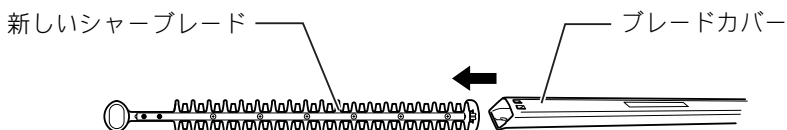


注

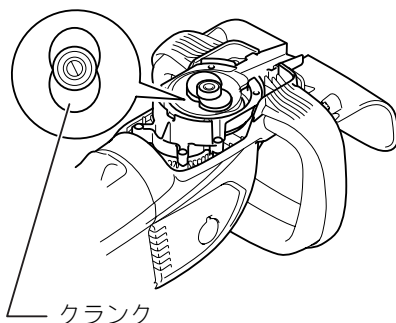
- ・ ギヤがはずれた場合はそのままもとに戻してください。

取り付け方

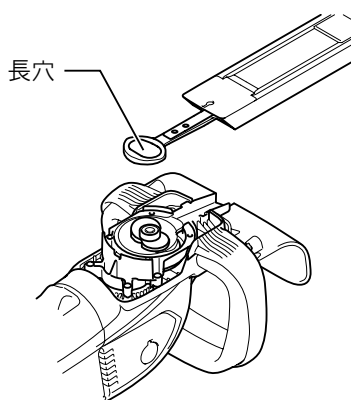
- ・ 取り替え作業中にシャープブレードが持ち易いように、ブレードカバーを新しいシャープブレードに付け替えます。
- ・ はずした部品 (⊕ネジ4本 (アンダーカバー取り付け用)、⊕ネジ2本 (シャープブレード取り付け用)、プレート、アンダーカバー) と新品のシャープブレードを準備します。



- ・ クランクの位置をそろえます。このとき、新しいシャープブレードに付属しているグリスをクランク外周に全量塗布してください。

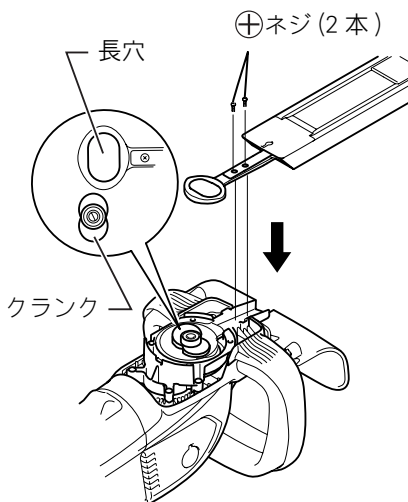


- ・ 新しいシャープブレードの上刃と下刃の長穴をそろえます。

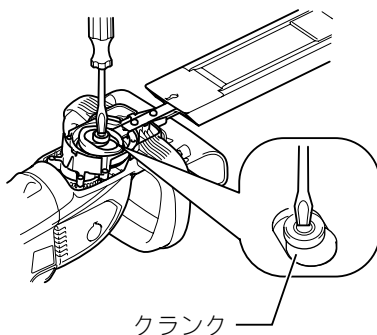


保守・点検について

- ・ シャープブレードの長穴をクランクに合わせてシャープブレードを本機に取り付けます。シャープブレードの穴と本機のネジ穴を合わせ、⊕ネジ2本(シャープブレード取り付け用)をしっかりと締めます。



- ・ ⊖ドライバでクランク部がスムーズにまわるか確認します。
- ・ プレート、アンダーカバーを取り付け、⊕ネジ4本(アンダーカバー取り付け用)でしっかりと締めます。
- ・ ブレードカバーを取りはずした後、スイッチを入れて動作確認をします。

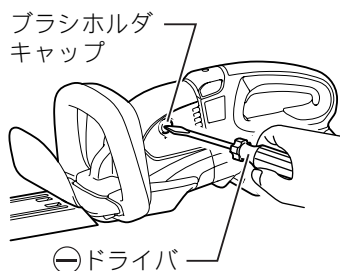
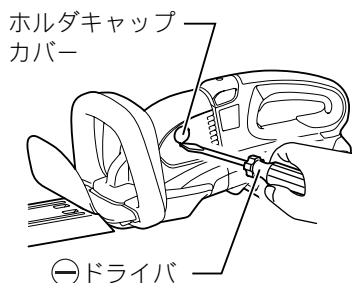
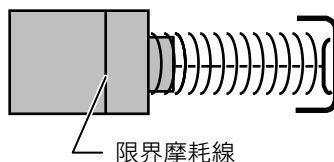


注

- ・ シャープブレードが正常に動かない場合は、シャープブレードとクランクのかみ合わせが良くありません。もう一度最初からやり直してください。

カーボンブラシの交換

- ・ カーボンブラシは定期的に取りはずして点検してください。カーボンブラシが限界摩耗線まで摩耗したら新品と取り替えてください。このとき、カーボンブラシがブラシホルダ内で前後にスムーズに動くか確認してください。新品と交換する際は、必ず当社指定のカーボンブラシをご使用ください。
- ・ ドライバを凹部に差し込みホルダキャップカバーを持ち上げて取りはずします。
- ・ ㊦ドライバでブラシホルダキャップを取りはずしてください。
- ・ 中から摩耗したカーボンブラシを取り出し、新品と取り替えて、ブラシホルダキャップを組み付けてください。カーボンブラシは2個で1組になっております。取り替えるときは、必ず両側とも同時に行ってください。
- ・ ホルダキャップカバーを取り付けます。



ブレードのお手入れ

- ・ 作業前と作業中の1時間に1回程度はブレードに注油をしてください。
- ・ 作業後は、ワイヤブラシで刃の両面の汚れを落とし、布で拭きとってから機械油などの粘度の低い油やスプレー式の潤滑油を十分に差してください。

注

- ・ ブレードは水洗いしないでください。サビや故障の原因になります。

保守・点検について

本機のお手入れ

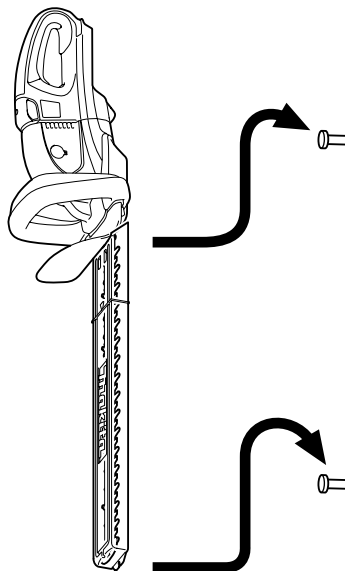
- ・ 乾いた布か石けん水を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコール等は変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

保管

- ・ ブレードカバーにあるフック穴を壁面のくぎやネジに引っかければ、本機を立てかけておくことができます。
- ・ シャープブレードにはカバーをし、刃物がむき出しにならないようにして、お子様の手の届かない所に大切に保管してください。
- ・ 雨や水のかからない場所で保管してください。



ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店または当社営業所にお申し付けください。

882528C8

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502

TEL.0566-98-1711 (代表)